

教育・入試・学生支援戦略

学問の発展、人類の幸福、地球環境の保全及び世界の平和に貢献するために、学部及び大学院において「多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育」を推進しています。

TOPIC

令和7年4月、システム情報学部（工学部情報知能工学科（改組））（→P.23）、医学部医療創成工学科（→P.20,34）が誕生します。

多様性、国際性、卓越性と柔軟性に富んだ教育を推進

1. 数理・データサイエンス教育の推進
2. 国際共同教育や海外学生派遣・留学生獲得によるグローバル教育の推進
3. 大学内・大学間連携教育プログラムなどによる異分野共創教育の推進
4. 大学院教育の充実や高度専門人材の育成と産官学連携教育の推進
5. インクルーシブなキャンパスの整備

2030

基盤となる教育

P.9

学部・大学院における教育

専門職学位課程

附属学校部

特色ある教育

P.30

高度卓越人材育成のための教育

グローバルエキスパート育成

修学段階と目的に応じた留学生教育・支援

多様な学生の獲得と人材の早期育成

地域や産業界と連携した人材育成とキャリア形成支援

先進的でインクルーシブなキャンパスの整備

基盤となる教育

大学教育推進機構

教養教育院

グローバル教育センター

国際コミュニケーションセンター

異分野共創型教育開発センター

大学教育研究センター

みらい開拓人材育成センター

人文・人間科学系

文学部

人文学研究科

国際人間科学部

国際文化学研究科

人間発達環境学研究科

社会科学系

法学部

法学研究科

実務法律専攻
(法科大学院)

経済学部

経済学研究科

経営学部

経営学研究科

現代経営学専攻
(MBA)

国際協力研究科

総合系

科学技術イノベーション研究科

生命・医学系

医学部

医学研究科

保健学研究科

自然科学系

理学部

理学研究科

工学部

工学研究科

システム情報学部*

*2025年度設置

システム情報学研究科

農学部

農学研究科

海洋政策科学部

海事科学研究科

附属学校

幼稚園・小学校・中等教育学校・特別支援学校

学部・大学院における教育 ～教養教育院～



人文・社会・自然系教養科目、外国語系教養科目、健康・スポーツ科学系教養科目を中心に
すべての授業科目の基礎となる基盤系教養科目、発展的内容を扱う総合系教養科目を展開

総合系教養科目

複眼的、批判的、創造的、包括的に思考し判断する能力を身につける。
現代的な話題について、講義に加え演習やフィールドワークなども実施。全学年対象、標準で0～4単位取得。

社会と環境

ESD論・環境学入門・海
への誘い・社会と人権・
ジェンダーとセクシュア
リティなど

価値と創造

ひょうご神戸学・神戸大
学史・価値創造論・職業
と学び・アントレプレ
ナーシップなど

科学と技術

食と健康・生物資源と農
業・科学技術と社会・カ
タチの文化学・データサ
イエンスなど

多言語と多文化

外国語セミナー・海外留
学のすすめ・多文化共修
セミナー・国際協力の現
状と課題など

共通専門 基礎科目

線形代数・
力学基礎・
有機化学・
生物学概論
など

資格免許 のための 科目

日本国憲法

人文・社会・自然系教養科目

伝統的な思考や方法を批判的に継承しつつ、自ら課題を設定し、創造的に解決で
きる能力を身につける。主に1～2年対象、標準で所属する学部学科の専門以外
の系から最低8単位、総合系と合わせて12単位取得。

人文系

哲学・倫理学・心理
学・教育学・言語科
学・文学・芸術史・科
学史・日本史・西洋
史・考古学など

社会系

法学・政治学・経済
学・経営学・社会学・
地理学・社会思想史・
文化人類学・現代社会
論など

自然系

数学・統計学・物理
学・化学・生物学・惑
星学・生命科学・医
学・保健学・情報学な
ど

外国語系教養科目

多様な価値観を尊重し異文化を深
く理解する力と、それを支える優
れたコミュニケーション能力を身
につける。主に1年対象、標準で8
単位取得。

外国語 第I (英語)

外国語 第II・第III
(ドイツ語・フランス語・
ロシア語・中国語)

健康・スポーツ 科学系教養科目

創造的な生活様式を獲
得し、スポーツによる
主体的な健康の維持と
体力の増進のための知
識や能力を身につける。
全学年対象、選択科目。

健康スポーツ科学講
義・健康スポーツ科
学実習など

基盤系教養科目

すべての授業科目の基礎となる知識や能力を修得し、
高い倫理性と、知性、理性及び感性の調和した豊かな教養を身につける。1年対象、4単位必修。

教養とは何か・多言語と多文化の世界・情報基礎・データサイエンス基礎学

大学教育推進機構教養教育院：教養科目・共通専門基礎科目などの全学共通授業科目を実施
2025年度に新カリキュラム導入・2026年度に大学院教養科目を開始・2028年度に実施体制を改革

学部・大学院における教育

～文学部・人文学研究科～

文学部

育成する人材像

人類の文化的営みの蓄積としての人文学を、古典を通して深く理解するとともに、社会的対話によりそれを実践していくことのできる能力を身につけ、現代社会において活躍できる人材を育成する。徹底した少人数教育により、個々の学生の好奇心に応え、自ら問題を設定し、解決するスキルを学生に伝授することを旨とする。

教育課程

・ 初年次教育（1年生）

文学部の諸専修について理解を深める授業群・文学部での研究の基礎を学ぶ授業群を配置。

・ 15専修に分属（2年生以降）

各専修における徹底した少人数教育 国内1大学、海外75大学と単位互換協定 中学高校の教員免許（英語・国語・社会）、博物館学芸員資格等の取得。

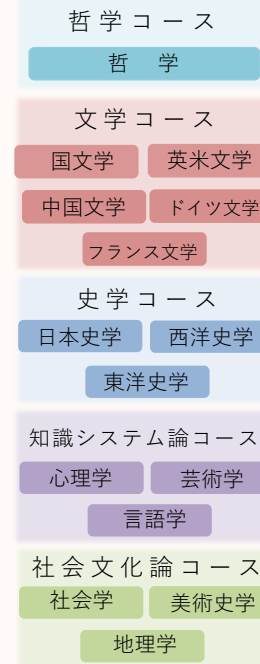
・ 4年間の研究の総括としての卒業論文

・ KOJSP（神戸オックスフォード日本学プログラム）

オックスフォード大学アジア・中東学部日本学専攻の2年生全員が1年間文学部で学ぶユニット受け入れ型プログラム。本学部生はチューターとしてプログラムに協力。

初年次教育

15専修に分属



徹底した少人数教育

国内1大学、海外75大学と単位互換協定

卒業論文

人文学研究科

育成する人材像

人文学の高い専門性を追求すると同時に、総合性を高めることによって、人文学の古典的な役割を継承しながら、現代社会で活躍できる人材を養成する。

教育課程

・ 深い専門性と多面的な視野の育成

他専攻教員を含む3名の教員による指導教員チームによる指導。共通科目（必修）として、人文学推進インスティテュートを構成する地域連携センター、倫理創成プロジェクト、日本語日本文化教育プログラム、神戸霧囲気学研究所（KOIAS）、文化交渉学研究プロジェクト等、研究科内共同研究教育組織による、人文学の成果の社会的応用に関する授業群の設定。

・ 研究機会の拡大

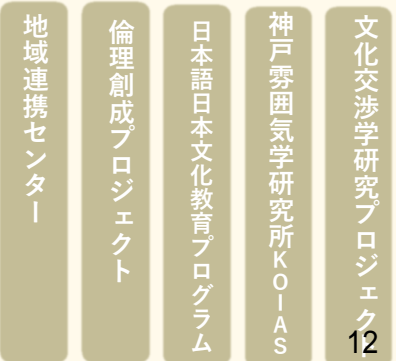
国内4大学、海外75大学と単位互換協定、北京外国語大学とダブルディグリープログラム、日本語日本文化教育海外インターンシップ等。

文化構造専攻

社会動態専攻



人文学推進インスティテュート



学部・大学院における教育 ～国際人間科学部～



グローバルイシューへの挑戦

◎多文化間の境界をコミュニケーションの力で乗り越え、グローバル共生社会を実現
◎人間の多様な発達とそれを支える協働社会の実現、そして次世代の育成
◎身近から地球規模まで、人間と環境の調和に根ざす持続可能な共生社会の実現

深い人間理解と他者への共感をもって地球的規模の課題に向き合う



グローバル文化学科

国境を越えたコミュニケーションを推進できるリーダーシップを備えた人材の養成

- 地域文化系プログラム
- 異文化コミュニケーション系プログラム
- 現代文化系プログラム
- 言語情報コミュニケーション系プログラム

異文化理解

環境理解

環境共生学科

グローバル共生社会を支える環境を創り出す文理融合型の人材の養成

- 環境自然科学プログラム
- 環境数理科学プログラム
- 生活共生科学プログラム
- 社会共生科学プログラム



深い人間理解

発達コミュニティ学科

人間の発達とこれを支えるコミュニティの実現に取り組む人材の養成

- 社会エンバワメントプログラム
- 心の探究プログラム
- アクティブライフプログラム
- ミュージックコミュニケーションプログラム
- アートコミュニケーションプログラム

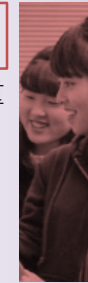


人間発達理解

子ども教育学科

現代社会の文化的多様性を尊重した子ども教育に取り組む人材の養成

- 学校教育学コース
- 乳幼児教育学コース



卒業までに身につける能力

グローバルイシューを構成する諸課題を発見する批判的・合理的思考力

外国語やICTを使いこなす、多様なコミュニケーション能力と情報収集・分析能力

グローバルイシューを異文化／環境／人間発達及び次世代育成の観点から理解する能力

グローバルイシューの解決に向けて他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する行動力

幅広い知識と専門的能力

【必修】 国際的協働力を養うための海外研修・フィールド学修

Global Studies Program

GSP

全学生がグローバルイシューをフィールドで実感する実践的学科横断プログラム

海外実施
GSコース

【海外フィールド学修】

交換留学、海外スタディツアー
海外語学研修、サマースクール

国内実施
GSコース

【国内フィールド学修】

地域の人々との実践活動
海外とのオンライン共同学修

事後学修

グローバル体験の比較・共有から生まれるシナジー

多文化共生社会実現のための協働型グローバル人材へ

学部・大学院における教育 ～国際文化学研究所～



越境する知性を陶冶する教育

養成する人材像

深い異文化理解能力、自在なコミュニケーション能力と現代的諸課題に取り組むための応用研究力・実践力を備えたグローバル社会のフロントランナー

教育の理念

- ・異文化共存を見据えた文化研究の先端的領域を開発
- ・人類文化を把握するための新たなパラダイムを構築

教育の目標

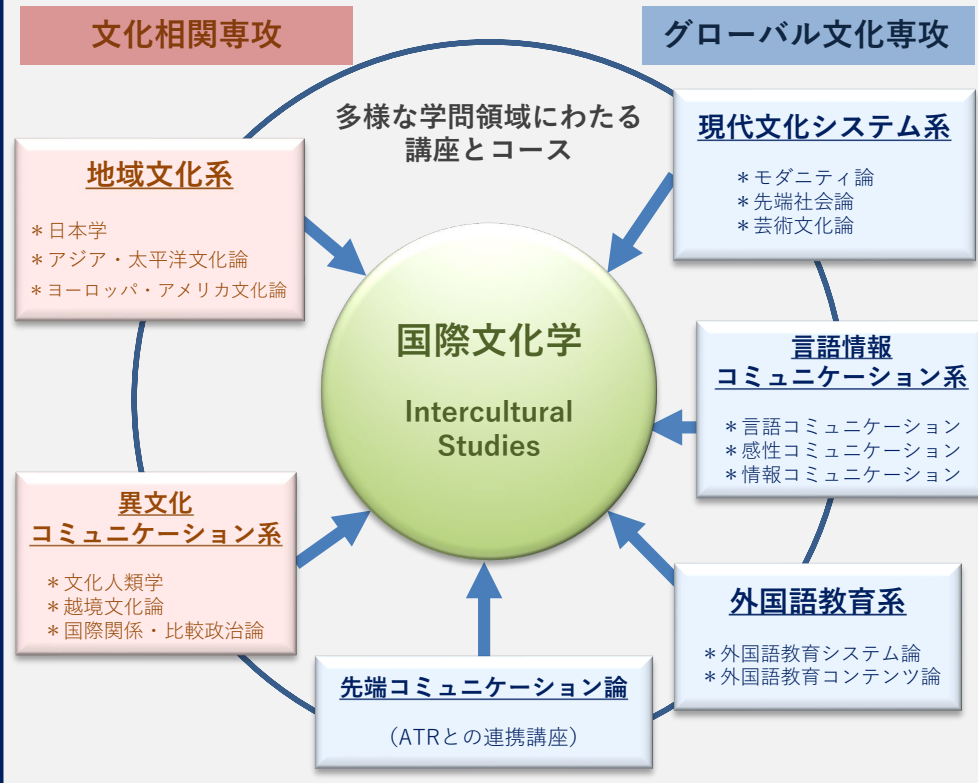
文化の多様性、異文化間の関係性やコミュニケーションの動態を理解し、グローバル化する現代社会の課題に多角的に取り組むことのできる能力を涵養すること

学際性を高める取り組み

- ・最新のICTを取り入れた、文理の枠を超える教育
- ・コースでの複数分野の教員による集団指導
- ・博士後期課程におけるコロキウム（講座全体で実施する分野横断的な研究会形式の公開審査）

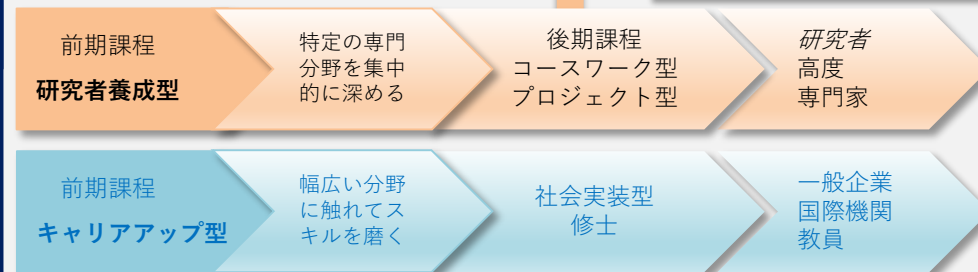
国際性を高める取り組み

- ・異文化研究留学プログラム（80校以上の協定校との交換留学）
- ・ダブル・ディグリー制度（5校6プログラム）
- ・多彩な短期海外研修、インターンシップ
- ・日本語教師養成サブコース
- ・国立民族学博物館（総研大）との連携教育プログラム



学生のニーズに合わせた柔軟な教育プログラム

国際文化学研究推進
インスティテュート
での共同研究



多様な入学生 国際人間科学部、神戸大学 他学部、他大学、留学生、社会人 14

学部・大学院における教育 ～人間発達環境学研究科～



幅広い視野を持って Well-being 社会を創造する実践型リーダーの育成

理論と実を往還する課題解決型教育プログラム

> 学問領域複合型教育（卓越した専門性と異分野融合）

- **人間発達専攻：**
『人間の発達』に関して、「個人の創造的発達」と「個人の創造的発達を促す関係性」という視点から、総合的かつ高度な文理融合型専門教育を提供（心理系、教育系、表現系、行動系）
- **人間環境学専攻：**
『人間の発達を支える環境』に関して、「人間の発達を促進し、支援する環境要因の解明」という視点から、総合的かつ高度な文理融合型専門教育を提供（自然科学、数理情報科学、生活科学、社会科学）
ヒューマンコミュニティ創成研究、ESD研究、グローバルリサーチ演習
→ 専門科目群、特別研究Ⅰ～Ⅳ → 教育能力養成演習

> Action Research による実践型教育（多様な現場と柔軟な参加）

- **ESDサブコース：**
持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）の理論と実践について学ぶ教育プログラムを提供
- **臨床心理学コース：**公認心理師（心理職の国家資格）及び臨床心理士（心理臨床の高度専門職）資格認定試験の受験資格が取得可能
- **1年履修コース：**社会経験が豊富な社会人を対象に高度職業人を養成する実践的教育（1年で修士号取得が可能）
- **専攻の枠を越えた学際的・実践的ジョイントプログラム（発達支援インスティテュート）**

ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
・ ESDネットワーク支援プロジェクト
・ 共生支援プロジェクト

サイエンスショップ
・ 科学コミュニケーションの促進
・ 市民の環境保全活動等への支援

発達支援
インスティテュート

心理教育相談室
・ 臨床心理面接・プレイセラピー
・ 臨床心理学的地域貢献

教育連携推進室
・ 参画型実践教育を基盤とする
高度教員養成プログラム

アクティブエイジング研究センター
・ 鶴岡いきいきまちづくりプロジェクト
・ アクティブエイジングを進める学際・国際研究の推進

国際人間
科学部

発達
コミュニ
ニティ学
科

子ども
教育学
科

環境
共生学
科

研究科の目標

人間発達環境学研究科では、複雑な諸課題を抱く現代社会において、人が潜在的に持つ能力をどのように開花させるのか、また、そのためにどのような環境が必要なのかについて、原理的、実践的及び国際的に教育・研究し、人の善き生（Well-being）の実現を目指して「知」の構築を行っている。

Well-being(より善い生) 社会の創造

その多様な担い手を育成

- 課題解決のために、多領域の人々と協働し、リーダーシップを発揮できる卓越した人材
- 幅広い視野、深い専門知識、さらに強い探求力を持つ高度専門職業人や研究者

進路：民間企業、NGO、NPO、公的・行政機関、研究教育機関等

領域：教育、子ども、高齢者、福祉、心理、スポーツ、芸術、健康、環境、まちづくり、製品開発等



グローバルな課題に取り組む教育研究活動

学術Weeks

内外の領域横断的な学術交流活動を通して、研究会の企画・運営・発表などの技能習得の機会を大学院生に提供。
2023年度実績(2企画/参加者=81名)



実践と研究の往還

さまざまなグローバルな課題に取り組む実践現場とのつながりの中で教育・研究活動を遂行するプログラムを大学院生に提供。



対話を重視した総合知の創造

多様な研究教育分野を横断して、対話的に総合知を形成するプログラムを大学院生に提供。



学部・大学院における教育

～法学部・法学研究科・法科大学院～



◆社会課題の解決を先導する人材の育成

グローバル化の進展に伴ってますます増加する国内外の社会問題（個人や企業間における国内的・国際的紛争、国家間における紛争、競争・環境・知的財産の保護のあり方の問題など）を、法学的な専門知識・思考方法と政治学的な理論・実証分析手法を駆使して、実践的に解決することができる人材の育成を目指す。

学部

教員1名あたりの学生数が約3.5名という全国トップレベルの「教員と学生の距離の近さ」のなかで、きめ細やかな教育を展開する。

大講義と並行した
少人数教育

1年生

初年次セミナー
法解釈基礎

2年生

法解釈基礎
社会分析基礎
外書講読

3・4年生

3・4年次演習
応用科目
外書講読

特色あるプログラム

●法科大学院進学プログラム（法曹コース）

早期の司法試験合格に向け3年次卒業・法科大学院進学を目指す

●グローバルプログラム

大学院進学（KIMAP、DDP、ELS-Mの各プログラム）に向けて3年次卒業を可能とする学部教育

●法経連携専門教育プログラム（ELS）

法学と経済学の双方の視点を有する異分野 共創性を備えた人材を養成

法学・政治学

大学院

国内外の法学政治学研究を主導する教員を擁し、優れた実務家と研究者を養成。リサーチデザインや方法論の科目を重点的に提供し、体系的教育を行う。

専門科目と並行した
研究・論文作成方法の
分析手法体系的修得

修士1年

方法論特殊講義
(法学/政治学リサーチ
デザイン)
方法論特殊講義Ⅰ・Ⅱ

修士2年

方法論特殊講義Ⅲ
論文作成指導

博士
研究指導

特色あるプログラム

●KIMAP in Global Business Law

英語による講義と海外インターシップを通じて国際ビジネス分野で活躍する人材を養成

●高度専門法曹養成プログラム（TLP）

弁護士等の再教育により、競争法や知財法など専門性の高い法領域に精通した実務家を養成（博士号の取得）

●ダブルディグリー・プログラム（DDP）

英国・エセックス大学などへの学生派遣と受入により、グローバル人材の育成と交流を促進

●計量手法による国際研究プログラム

データ分析技法の修得と英語でのプレゼンテーション能力を訓練

法科大学院

各分野を主導する優れた教員による理論的・実践的教育により、高い司法試験合格率を達成（74%を超える累積合格率）。

司法試験の合格を
見据えた
実践的カリキュラム

未修者コース1年目

法律基本科目(憲法・民法・刑法など)の集中的修得

未修者コース2・3年目
既修者コース1・2年目

対話型演習による法律基本科目の深化+実務基礎科目(法律文書作成演習)との連携

司法試験合格

未修者コース3年目・既修者コース2年目における
在学中受験にも対応

特色あるプログラム

●未修者スタートアップ・プログラム

未修者を対象に、授業進行と並行して、学習段階に応じた指導とサポートを提供

●ワークショップ企業内法務

企業法務の現役担当者による連続講義により、企業の法務部門で活躍することができる職業法曹を養成

●海外エクスターンシップ

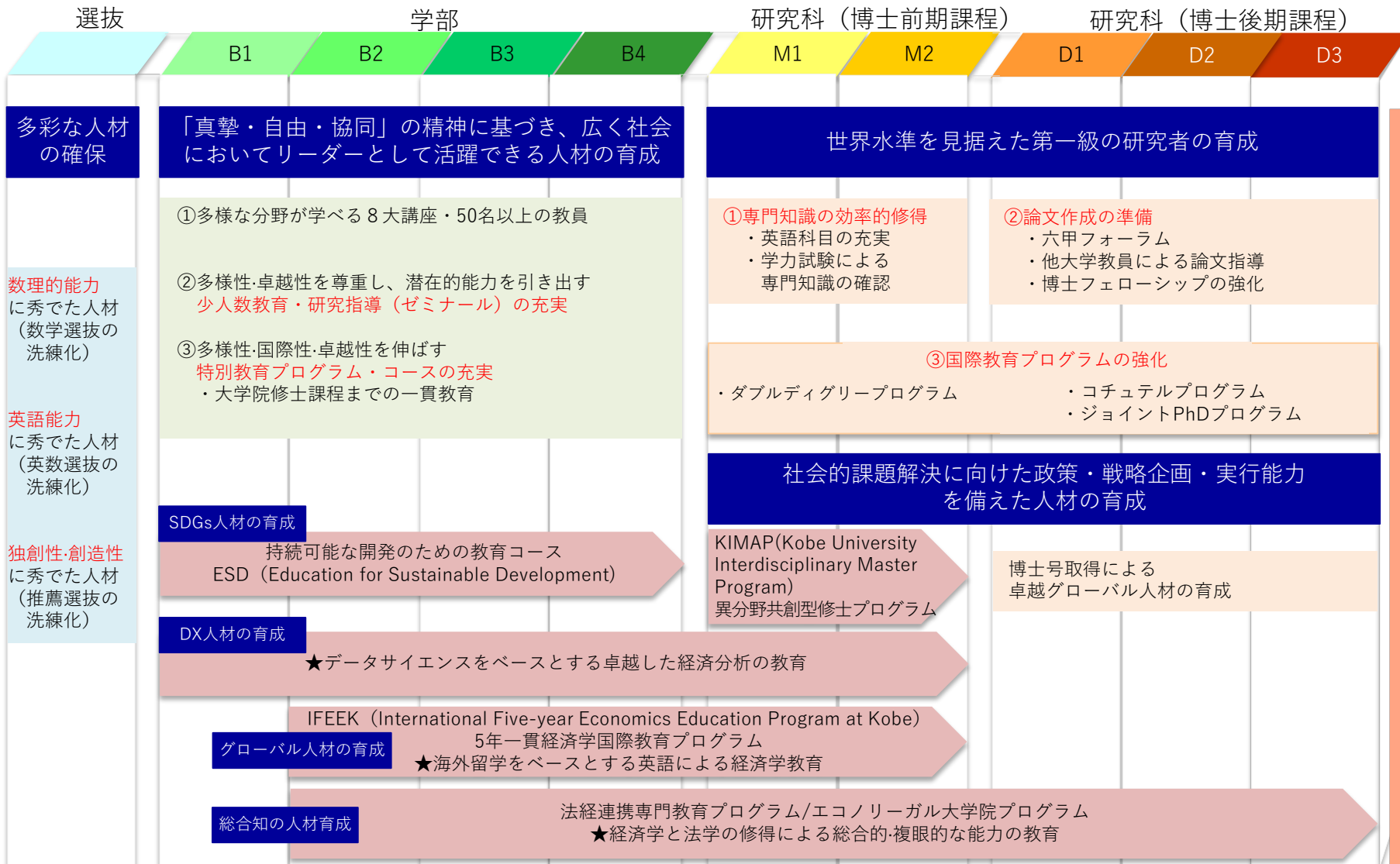
東南アジア諸国の国際的的法律事務所の協力のもとで、海外エクスターンシップを実施

学部・大学院における教育

～経済学部・経済学研究科～



経済学研究科が掲げる「Education Vision 2030」



多様性・国際性・卓越性を具備し、社会・経済の様々な変化に対処していける柔軟性を持った人材の育成

学部・大学院における教育

～経営学部・経営学研究科～



経営学部

育成する人物像

経営学・会計学・商学の領域において幅広い知識とそれを基盤とした専門的能力を身につけ、人間性、創造性、国際性に優れ、次世代の知識・産業社会において知的リーダーシップを発揮できる人材を養成する。

多様な専門教育プログラム

- ・会計プロフェッショナル育成プログラム：高度専門会計人材養成
- ・経営データ科学特別学修プログラム（DSP）：経営データを分析して、理論を検証し、検証結果から実践的示唆を導き出せる人材養成。5年一貫で修士号取得可能
- ・KIBER（Kobe International Business Education and Research）プログラム：1年間の国際留学で国際社会に通用する人材養成。
- ・KIMERA（Kobe International Management Education and Research Accelerated）プログラム：KIBER・KIMAPと連動し、5年一貫で修士号取得可

1年次	2年次	3年次	4年次
体系的プログラム			
全学共通授業科目			
経営学・会計学・商学領域の入門・専門科目群			
研究指導（ゼミ・卒業論文）			
法学部・経済学部・その他の学部の専門科目			
特色あるプログラム			
会計プロフェッショナル育成			
経営データ科学特別学修プログラム（DSP）			
KIBERプログラム（3年生後期から4年生前期まで交換留学）			
KIMERAプログラム（KIBER留学後、早期卒業・博士課程前期課程10月入学）			

経営学研究科

育成する人物像

経営学・会計学・商学の領域において、高度な経営判断ができる高度経営人材と、巨細的な舞台で活躍できる高度な経営学の知識を身に着けた、卓越した経営学研究者を養成する。

多層的な専門教育プログラム

- ・KIMAP（Kobe University Interdisciplinary Master Program） in Managementプログラム：国際舞台で活躍できる高度経営人材養成
- ・地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム：社会的課題解決に向けた政策・戦略企画、実行能力を備えた人材育成
- ・経営データ科学特別学修プログラム（説明は経営学部と共通）
- ・専門職学位課程（MBA）による高度専門職業人の養成

博士前期課程		博士後期課程		
1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
体系的プログラム				
高度経営人材養成				
世界水準の研究者養成				
個別プログラム				
前期課程（本科履修コース）		後期課程（本科履修コース）		
前期課程（KIMAP in Management コース）				
地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成プログラム		（後期課程に編入可能）		
経営データ科学特別学修プログラム		（後期課程に編入可能）		
専門職学位課程（MBA）		（後期課程に編入可能）		

学部・大学院における教育

～理学部・理学研究科～



理学研究科

理学部

卓越先端研究
国際的最先端卓越研究の臨場感のもとで教育がなされ、その精神は言葉を超えて学生に浸透していきます。

柔軟な発想力
確固たる論理的思考と柔軟な発想力をともに涵養することで有為な人材を送り出します。

多様な教育
自然科学を幅広く俯瞰する多様な学びを提供しています。他学科、他専攻、他学部、他研究科、他大学の授業科目も一定数履修できます。


国際性の涵養
学部から大学院にかけて、学年が進むごとに無理なく徐々に国際性が涵養されていきます。

世界最先端研究
高度専門・研究者教育
博士論文
修士論文
専門教育 先端・学際融合教育
<ul style="list-style-type: none"> プログラム教育コース：数理・情報、計算・数理、数理・構造、数理・経済、環境・化学 次世代火山研究者育成プログラム
グローバル教育
<ul style="list-style-type: none"> Premium Program：海外研究者による講義 科学英語 学生海外派遣
少人数教育
専門教育
専門講義
実習・演習・卒論
理学積み上げ教育
専門基礎教育
基礎講義
基礎実習・演習
海外経験プログラム
グローバルチャレンジプログラム
フィリピン大学ロスバニョス校
南洋理工大学
カセサート大学

数学

「分野の枠組を越える発想と広い活躍の場」


数と図形という古からの研究対象を可能な限りのあらゆる発想と手法を用いて探求。独創的研究者の育成と数理を駆使する高度職業人の育成



物理学

「自然の真理を追求し豊かな応用につなげる」

素粒子、原子、分子、物質、宇宙と極めて広い範囲にわたる自然の構造と機能の根本原理を探求し、基礎科学の進展に寄与できる人材の育成



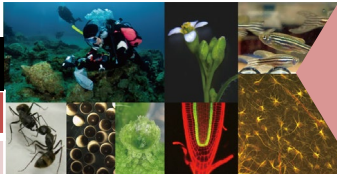
理学部 理学研究科

少人数教育学修を経て、世界最先端研究へ導く教育

惑星学

「この星はなぜ地球なのかを探究する」


地球中心から太陽系の果てまでで起こる現象を解析し、地球・惑星・太陽系の進化をまるごと理解する研究者の育成。惑星学を活かす高度職業人の育成



化学

「新しい物質、新しい化学現象や化学原理を追究する」

生命科学から物質科学まで広範囲の分野の人材育成とともに、社会的要請の高い問題発掘・解決能力を持つ高度な企業研究者の育成



生物学

「複雑な生命システムの謎を解き明かす」

生命とは何かという基本的な認識を持ち、健全なバランス感覚をもって今後の生命科学と技術を見守りかつ発展させることのできる人材の育成

学部・大学院における教育

～医学部・医学研究科～



○ 医学部医学科

- 広い知識を授けるとともに、医学・生命科学分野の教育研究を行い、高度な専門的知識・技術を身に付け、高い倫理観並びに旺盛な探究心と想像力を有する「科学者」としての視点を持つ医師及び医学・生命科学における先端的・学際的研究を推進する研究者を養成。学部入学段階から卒業・大学院までの一貫した取組により基礎医学研究者の養成を行う。



- 基礎医学系講座に配属し、研究を体験する「基礎配属実習」を1961年から開始。
- **世界的な著名医学研究者を輩出**
ノーベル賞・学士院賞 山中伸弥 博士
ラスカー賞・文化勲章 西塚 泰美 博士

○ 医学部医療創成工学科（令和7年度設置）

- 医療機器開発を題材として問題解決に必要な未来思考と基本的な素養を有し、自ら課題を設定し、その解決策を見出す能力を持つ創造的開発人材の養成を行う。

○ 医学研究科

- **バイオメディカルサイエンス専攻（修士課程）**
国際的に活躍する生命科学・医学研究者、バイオ・医学・医療等の関連産業において活躍する人材を養成。
- **医科学専攻（博士課程）**
医学・生命科学領域における高度で先端的・学際的研究を推進するとともに、「医学・生命科学を担う優れた医学研究者」並びに「リサーチマインド及び高度な臨床技能を兼ね備えた臨床医（高度職業人）」を養成。
- **医療創成工学専攻（博士課程前期・後期課程）**
医療機器開発を主導することができる創造的開発人材を育成。

履修プログラム

シグナル伝達基礎臨床融合プログラム

シグナル伝達医学を中心とし、分野の枠を超えて基礎臨床融合による教育・研究を行うプログラム

臨床研究エキスパート育成プログラム

規制科学、生物統計、臨床研究に精通した医師等を含む臨床研究エキスパートを育成するプログラム

デジタル医工創成学プログラム

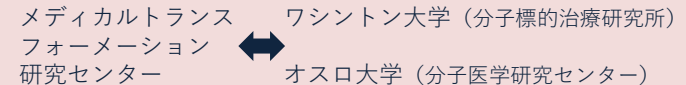
工学研究科、医学研究科、保健学研究科の連携による創造的医療機器開発人材（MDP）を養成するプログラム

研究者育成プログラム、医学研究国際プログラム、連携大学院臨床研究医養成プログラム、がんプロフェッショナル養成プログラム、早期研究スタートプログラム

海外大学との共同プログラム

• 学術交流協定

（国際連携創薬機構設立に向けたセンター間協定）



• ダブルディグリープログラム

ガジャマダ大学医学・公衆衛生・看護学部（インドネシア）
パジャジャラン大学医学部（インドネシア）
マヒドン大学シリラー病院医学部（タイ）

学部・大学院における教育 ～保健学科・保健学研究科～



保健学科

特色

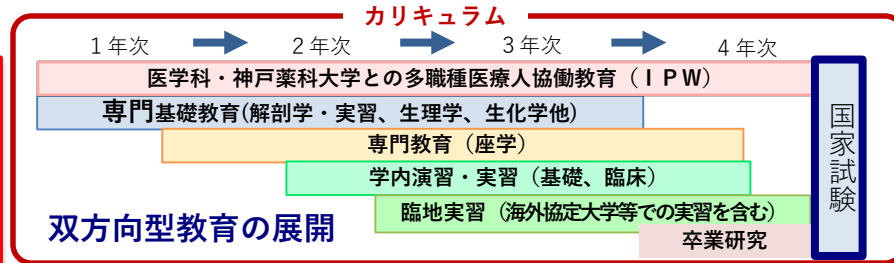
☆高度な専門的知識・技能を身につけた地球規模で活躍する保健学専門職の育成

4つの専攻

看護学専攻 (70名)	→	看護師
検査技術科学専攻 (40名)	→	臨床検査技師
理学療法学専攻 (20名)	→	理学療法士
作業療法学専攻 (20名)	→	作業療法士

国家資格

- ☆国立大学入試ランキング 2~4位
- ☆入試倍率2.3倍以上
- ☆国家試験合格率は 例年ほぼ100%



双方向型教育の展開

看護学専攻：看護の独自性・専門性を発揮し、エビデンスに基づく看護と地域・国際社会に貢献できる人材育成

理学療法学専攻：高度な実践力と科学的視点を兼ね備えた、病院、企業、行政への就職や教育研究職を目指す人材育成

検査技術科学専攻：「細胞検査士」「超音波検査士」「研究・開発職」など幅広い領域で活躍する多彩な人材育成

作業療法学専攻：世界作業療法士連盟認定校として世界基準の実践力を有する作業療法専門職の人材育成

保健学研究科 (前期課程) 高度医療専門職者の育成 (後期課程) 総合保健医療を創造・実践できる研究者の育成

保健学研究科保健学専攻

融合領域
パブリックヘルス

看護学 病態解析学 リハビリテーション科学

基幹3領域

特色・トピック

- 英語で修了できる **ICHS** コース設置、外国人講師による「Summer Education Program」開講
- 国立研究開発法人 情報通信機構との **連携講座** 設置 (2013)
- 保健師・助産師教育を博士前期課程へ移行 (2016)
- アジア健康科学フロンティアセンター** 設置 (2016)
- 環太平洋諸国との連携**による次世代グローバルヘルスリーダー育成プログラムの実施
- ガジャマダ大学・チュラロンコン大学と **ダブルディグリー協定** 締結
- 認知症予防推進センター** 設置 (2019)
- デジタル医工創成学コース** 設置 (2021)
- 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所との **連携講座** 設置 (2023)
- 「**ウェルビーイング教育プログラム (発達・保健) コース**」設置 (2024)
- 「**がんプロフェッショナル (がん看護) 養成コース**」設置 (2024)

ASEAN諸国等の15大学と大学間・部局間協定締結

- 【アジア】ガジャマダ大学、チュラロンコン大学、チェンマイ大学、ハノイ医科大学、台北医学大学、香港大学など12大学
- 【欧州】FHヨアネウム応用科学大学など3大学

将来の展望

- ① 博士学生フェローシップ活用による指導的人材育成
- ② 海外諸大学との学術協定活用、外国語科目数の増加による **国際共同研究を推進**
- ③ 海外との相互学生派遣による **学生間交流の推進**
- ④ **ハイブリッド型授業、リカレント教育プログラム**の充実

学部・大学院における教育

～工学部・工学研究科～



養成する人材像

「価値判断ができる技術者・研究者」

工学部：十分な専門知識と幅広い見識を持ち、社会に貢献しうる価値判断ができる技術者・研究者

工学研究科(修士)：深い専門知識と学際的・複眼的視野、豊かな創造性と価値判断能力をもつ研究者・高度専門職業人

工学研究科(博士)：自ら問題を設定・探求・解決できる高度な課題探求能力、豊かな創造性と国際感覚、高い倫理観と価値判断能力をもち、社会の安寧を先導しうる研究者・高等教育研究機関教員・高度専門職業人



学科・専攻 ・専門分野

建築学

- ・空間デザイン
- ・建築計画学
- ・建築構造工学
- ・建築環境工学



市民工学

- ・人間安全工学
- ・環境共生工学



電気電子工学

- ・電子物理
- ・電子情報



機械工学

- ・熱流体
- ・材料物理
- ・システム設計
- ・先端機能創成学



応用化学

- ・物質化学
- ・化学工学



情報知能工学

- ・システム情報学



※R7年度に「システム情報学部」に改組

工学部

工学基礎教育（初年次教育含む）

- ・**工学専門基礎**：工学基盤となる数学科目、データサイエンス基礎の充実
- ・**教養教育**：価値判断の礎となる技術者倫理・科学哲学、科学工学史に関する教養教育

専門教育：各分野の専門知識獲得と実践的応用力の醸成、基礎的な工学英語習得に向けた専門英語科目の実施

世界的課題解決に向けた工学系グローバル人材育成のための国際共修/協働学修プログラム（大学の世界展開力強化事業：文部科学省）

- ・グローバルチャレンジプログラム
- ・サマースクール

理工系人材育成と数理・データサイエンス・AI教育

- ・**理工系人材育成**：高度教養教育、若手技術者・企業トップによる実践的講義、外国人講師によるSummer School等
- ・**数理・データサイエンス・AI教育**
- ・**学際融合教育プログラム**：医工連携・カーボンニュートラルなど他学部との協働教育の検討

工学研究科

専門教育：各専攻における高度専門知識の修得と学際的・複眼的視野を有する課題解決能力の醸成。学務と実務の融合を目指した専門教育。

多様性・学際性・卓越性を深めるグローバル教育

- ・**ダブルディグリープログラム**：海外大学と協定を締結し、相互的な学生派遣。
- ・**IMD(Industrial Master Doctor Program)**：連携企業（サポータークラブ）との協働による社会課題の解決を目指した実践的教育プログラム
- ・**Premium Program**：大学院生を海外の先端研究機関に派遣し、卓越的な国際共同研究を実施することを推進
- ・**先端融合科学教育**：工学部附属研究センターを中心にした多様な工学分野からの講義を展開。言語運用能力習得と異文化理解を目指して海外大学教員によるオンライン型英語講義の検討。
- ・**学際融合教育プログラム**：医工連携を始めとする学際的な新領域開拓に向けた協働教育プログラムの検討

学部・大学院における教育

～システム情報学部*・システム情報学研究科～

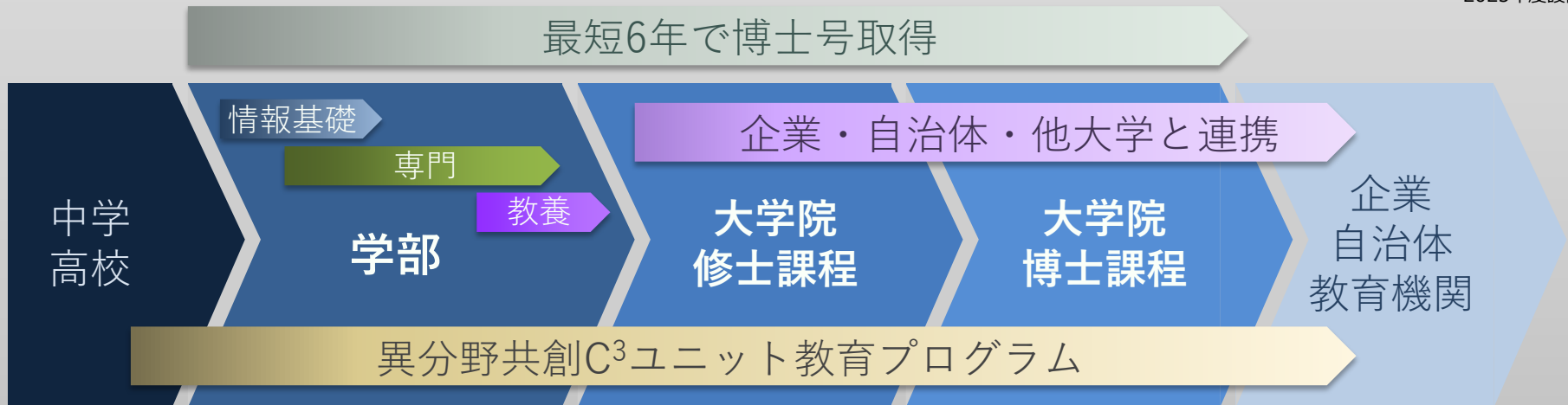
システム情報学

- AI・データサイエンス・スーパーコンピュータ・システム科学などの理系専門知に横串を通し、人文・社会科学の価値観や問題意識に繋ぎ、**環境問題や社会問題の解決**に貢献する**総合知**の学問領域

システム情報学に特化した柔軟な教育体制

- 学部*・大学院が一体化したカレッジ、情報基礎教育プログラム、学部入学直後からの専門教育
- 専門的知識を十分に身に付けてから教養を学ぶ**反転教養教育**
- 博士課程・修士課程の大学院生と学部学生、社会人、他学部生、他大学生、高専生などが共に学ぶ、**異分野共創C³(Co-Creation & Collaboration)ユニット教育プログラム**
- 意欲的な学生を強力にバックアップ、早期に研究室配属、学部入学から**最短6年で博士学位を取得**
- **IT企業や自治体、近隣の大学や高専と連携**、地元産業へ貢献、スタートアップを育成、情報教員を輩出

*2025年度設置



College of System Informatics

システム情報学カレッジ

学部・大学院における教育

～農学部・農学研究科～



For Sustainable Agriculture and Human Health – From Farm to Table –

「農場から食卓まで」の理念に基づき食料・環境・健康生命を科学し、 世界にも地域にも新たな価値を創造できる人材の育成

【農学部】

農学を核とする広範な知識に基づき諸課題を探究し、持続共生社会を構築するための知識と技術を備えた人材を育成。深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を身につける。

→専門授業科目と学位論文の研究指導

・**世界で戦える英語力の強化**：国際性を養うためフィリピン大学ロスバニョス校(UPLB)、ネブラスカ大学(UNL)、ジョージア工科大学(GT)と協力し、学生の派遣と教師の招聘による生きた英語実習と教育を実施する。

・**戦略的な地域連携と実践教育プログラムの推進**：附属食資源教育研究センターによる卓越農学教育の拠点化丹波篠山フィールドステーションによる実践的農学プログラム農水省消費安全技術センター等の国立機関での実地教育兵庫県農林水産技術総合センターとの戦略的な地域連携

→卓越した技術・知識を有し地域に貢献できる人材を養成

【農学研究科】

農学を核とする専門的な広範かつ高度な知識に基づき、食料・環境・健康生命に代表される農学の知識と技術を備えた知的基盤を創成できる人材を育成。

多様な専門教育プログラム：深い学識を涵養し、分野特有の「専門性」を身につけ、専門授業科目と学位論文の研究指導

グローバルマスター/ドクターコースを含む世界展開力強化事業では、専門性と国際性を身につける。教育・研究活動の**使用言語は英語**とする。

→未来の世界をリードする卓越的前端研究人材を醸成

柔軟な発想力に基づく独創性・創造性に秀でた人材育成

「幅広い農学知識」

食の倫理
緑の保全
UPLB農学英語コース

学士

「専門教育」

農学実験・農牧場実習
UPLB農学基礎英語
UNL農学英語研修

「前期課程」

「グローバルマスター」
UPLB中級英語7レベル演習
GT-AEESコース

修士

「後期課程」

「グローバルドクター」
UPLB上級英語7レベル演習
先端研究者の育成

博士

農学研究科・
農学部の魅力



生物、化学、物理、工学、経済、経営など幅広い学問を駆使し、食料生産と流通、環境・エネルギーから健康生命までの先端研究を行

学部・大学院における教育

～海洋政策科学部・海事科学研究科～

海洋政策科学部

海洋リテラシーを基礎として、**海洋**に関する多様で広範な専門領域の学びと実践的教育により、**未来の海の姿と理想的な利活用を意識して、海事・海洋に関する様々な課題の解決に寄与し、分野をリードできる優れた人材を育成する。**

教育の多様性

文系・理系重視型入試や「志」特別入試などの多様な学生募集、多様な学問領域の専門を横断的に学ぶ文理融合カリキュラムによる教育の推進

主・副専門による学びの柔軟性と学問の多様性

主専門と副専門の専門科目を柔軟に選択、海事海洋の多様な視点から未来の地球を考える力と専門性を養成

先端機器・知的資源の活用による卓越性

最新の探査機器を搭載し、災害対応機能を有する多機能練習船「海神丸」をはじめとする先端実験実習施設・機器、海事海洋情報の知的資源を活用した先端教育の実施

「神大海技士」の育成

海事海洋に関する広範な知識を基礎として海技士の専門性を学ぶと共に、最新機能を搭載した多機能練習船「海神丸」の活用による先端技術や国際性を身につけた神戸大学ならではの海技士を養成



多機能練習船 海神丸

海洋政策科学部・海洋政策科学科

海洋と地球を探る
海事海洋技術を創造する
海事海洋政策を立案する
グローバル経済を支える

海洋基礎科学領域
海洋応用科学領域
海洋ガバナンス領域
海技ライセンスコース
航海学領域
機関学領域

進学

大学院進学

神戸大学乗船実習科

3級海技士資格取得のための専門課程

修了

海事科学研究科

専門領域の知識に基づき、**海事・海洋分野の専門性をさらに深化・先鋭化させ、地球規模の海事・海洋に関連する諸課題の解決や未来を見据えた持続的な海洋の利活用と海洋環境保全に貢献でき、新たな価値を創造できる優れた人材を輩出する。**

産官学協働型教育【関西海事教育アライアンス】

阪大及び大阪公立大の大学院と共に海事産業界及び関係省庁有識者との連携で海洋開発・船用技術・海上物流・マネジメントを網羅する先端海事教育を実施

国際性と柔軟性に富む教育

英語による講義、国際海事社会の最新動向に基づく高度で実践的な海事海洋教育の提供

学びの国際性

国際(海外)インターンシップ、海外交流協定校との交換留学、コチュテル(共同学位指導)、海外オンライン授業等の導入による国際性の強化

協力講座・連携講座の設置

学内外の研究者らと連携し、海事・海洋に関する先端研究の実施

海事科学専攻(前期・後期)

海洋基礎科学コース
海洋応用科学コース
海洋ガバナンスコース
航海学コース

修了

大学院進学

海事・海洋分野へ寄与し、新たな価値を創造できる人材の輩出！

神大海技士の輩出
先端技術への対応や環境保全に貢献できる次世代の高度海技士を輩出！

学部・大学院における教育 ～国際協力研究科～

専門性・学際性を備えたグローバル人材を育成

学際的な教育プログラム

- ☑ 世界水準の研究をベースに幅広い学際的な教育プログラムを提供
- ☑ 経済学，法学，政治学，国際関係論，教育開発論，保健医療論（感染症等），防災論・・・



英語で学べる研究科

- ☑ 日本語講義と英語講義の比率は、ほぼ1:1
- ☑ 国際学修士は英語講義科目の履修が必修
- ☑ 専任教員・ネイティブスピーカーによる英語論文執筆指導
- ☑ 有名大学等から客員教授を招聘しての講義
- ☑ 海外実習・インターンシップ(原則海外)国際機関(世銀，国連機関等)との連携



留学生から学べる研究科

- ☑ 留学生と日本人学生の比率は、ほぼ1:1
- ☑ 世界30カ国・地域から厳しい選抜試験を経て集まった高いモチベーションを持つ留学生と共学・交流を通して国際感覚を醸成



研究・進路の幅を広げる 様々なプロジェクト

キャンパスアジア・プラス プログラム

リスク・マネジメント分野の事業を展開する国際機関、政府機関、官公庁、グローバル企業、保健医療機関、国際・国内NGO等で活躍する人材育成

専門講義・キャリアセミナー等を通して国際公務員への道を強力にサポート

国際公務員養成 プログラム

PCRC
(極域協力研究センター)



研究面での特徴

- ☑ 現場感覚のある研究
- ☑ 文理横断・異分野共創の研究
例: 災害研究・・・など
- ☑ 発展途上国とのネットワークを生かした研究(データ・現地調査・修了生)



経済学・法学・政治学・学術(国際学)の4つの中から学位が取得可能



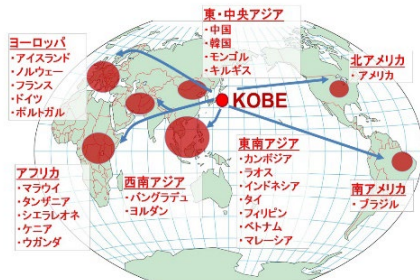
特色ある人材育成

「社会科学」と「国際性」を武器に各界へ

- ☑ 国際機関・政府系機関への就職
- ☑ 各国の幹部公務員(※留学生の場合)
- ☑ 理論と実践を両立できる研究者育成

注 目 海外実習・インターンシップ

学生の海外実習、インターンシップを授業科目の一つとして単位認定するなどして、奨励・支援しています



注 目 キャンパスアジア

復旦大学(中国)・高麗大学校(韓国)・チュラロンコン大学(タイ)・ラオス国立大学(ラオス)と共同でグローバル社会の多様なリスクに対応できる「リスク・マネジメント専門家」の育成を目指し、ダブルディグリー、交換留学、短期研修、フィールドワークや国際機関の実務家等を招いたセミナーなど多様なプログラムを展開しています

異分野共創による
リスク・マネジメント専門家
養成プログラム

参 考 国際協力研究科 DATA

- ・留学生比率* : **60.4%**
- ・留学生の出身国・地域: 中国, バングラデシュ, ベトナム, カンボジア, 韓国, ブラジル, インドネシアなど, 計34
- ・海外実習等派遣先** : ラオス, アメリカ, ベトナム, カンボジア, タイ, インドネシアなど, 計25

(*2024年5月8日 **2017~2023年度実績) 26

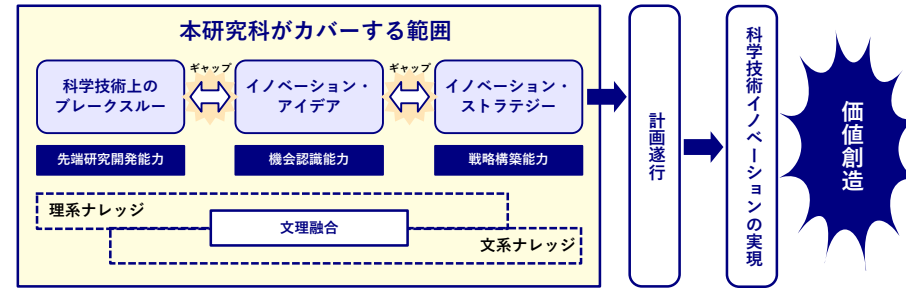
学部・大学院における教育 ～科学技術イノベーション研究科～

研究科の理念

- 先端科学技術分野における **研究開発能力**
- 学術的研究成果（科学技術上のブレイクスルー）を経済的・社会的な価値創造につながる新しい製品やサービスのコンセプト（イノベーション・アイデア）へとデザインする能力（**機会認識能力**）
- そのコンセプトを実現するための事業や財務などの具体的な戦略（イノベーション・ストラテジー）を構築する能力（**戦略構築能力**）までの教育を一貫して推進

神戸大学を科学技術イノベーションを担う人材育成のメッカとする

- より多くの理科系大学院生に社会課題解決を目指し、**パスツール型研究（目的基礎研究）**を推進できる力をつける教育、及び**アントレプレナーシップ分野の教育**を提供する
- 文科系学生の中からも、科学技術イノベーションの価値を理解し、**社会課題解決に挑む人材を育成**する
- メンターとして後進を導く、**ロールモデルとなる成功者を輩出**する



学外専門家と学内教員による実践的な教育

- 当研究科がフォーカスする技術・産業分野において、**①法務・知財戦略についての実践的な知識を持つ学外専門家によるハンズオンでの指導**に加えて、**②理系指導教員による最先端の研究を通じた技術戦略についての指導**、さらには、**③技術シーズの社会実装における実務経験（起業や新規事業開発、ベンチャー企業の投資育成、ビジネスコンサルティング等の経験）を持つ実務家教員による事業戦略、財務戦略等の実践的な指導**を通じて、博士課程後期課程学生に的確な価値創造と社会実装のための教育を提供

（テーマ例）

神戸大学発ベンチャー企業、バイオレット社による「**ゲノム編集×マイクロバイーム**」の事業化
超一流のサイエンスを一流の人材と資金で事業化するには



グループワークによるビジネスプラン立案と個別研究の事業計画発表



独自の異分野融合教育

科学技術アントレプレナーシッププロジェクト研究 (PBL)

各自の研究テーマを題材に、先端テクノロジーベンチャー企業として事業化するまでの必要知識とプロセスをPBL学習形式で修得

異分野の学生と協力・共創
コミュニケーション能力向上

産業技術実習

現場生産プロセスに準ずる設備・装置を用い、**先端技術のエッセンスを体験**

異分野の実習も体験
学生が視野を広げ、学際的な視点を身につける

先端膜工学分野

Advanced Membrane Science and Technology

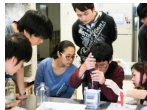
先端医学工学分野

Advanced Medical Science

（実習例）

バイオプロダクション分野

バイオ医薬品の代表である抗体医薬の細胞培養工程をモデルとした実習



先端膜工学分野

多孔膜作製のパイロットプラントを活用した中空糸膜の製膜及び測定の実習



先端IT分野

通信デバイス・装置のプロトタイプ作成及びビジネスプラン提案



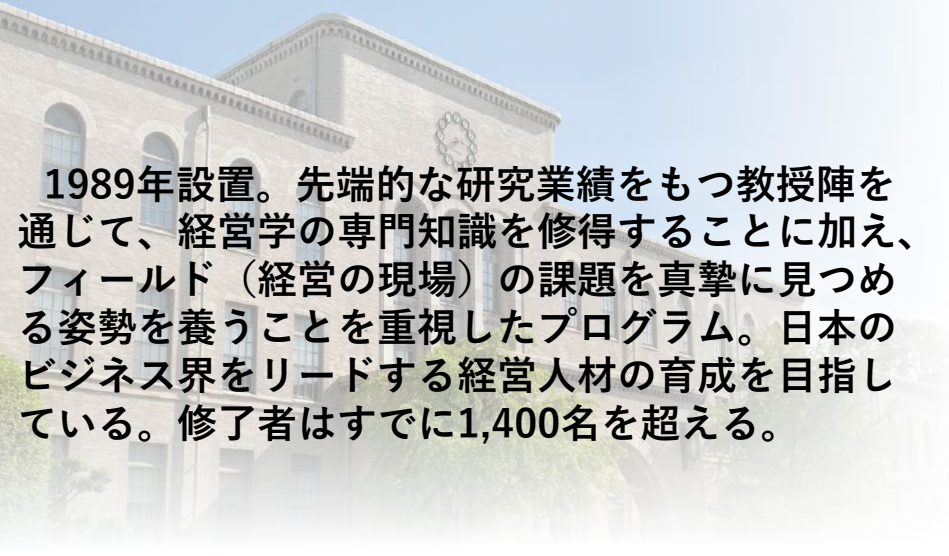
先端医学工学分野

社会を支える先端医療技術に関してグループワークによる情報収集と口頭発表

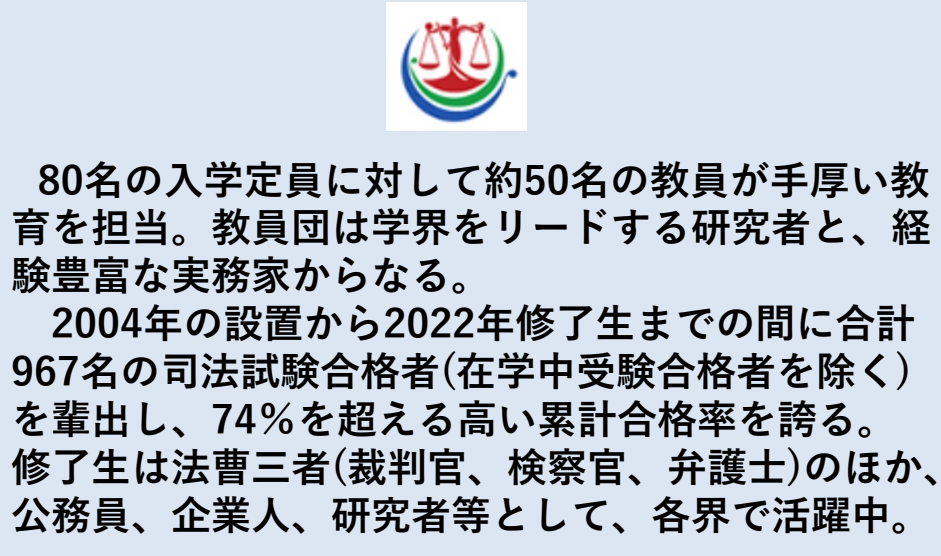


専門職大学院（MBAプログラム） 経営学研究科

専門職大学院（法科大学院） 法学研究科



1989年設置。先端的な研究業績をもつ教授陣を通じて、経営学の専門知識を修得することに加え、フィールド（経営の現場）の課題を真摯に見つめる姿勢を養うことを重視したプログラム。日本のビジネス界をリードする経営人材の育成を目指している。修了者はすでに1,400名を超える。



80名の入学定員に対して約50名の教員が手厚い教育を担当。教員団は学界をリードする研究者と、経験豊富な実務家からなる。

2004年の設置から2022年修了生までの間に合計967名の司法試験合格者(在学中受験合格者を除く)を輩出し、74%を超える高い累計合格率を誇る。修了生は法曹三者(裁判官、検察官、弁護士)のほか、公務員、企業人、研究者等として、各界で活躍中。

特徴

養成目標

1. プロジェクト方式

社会人が働きながら学びやすい環境を整備

2. 働きながら学ぶ

1)土曜のみの履修で修了可能なカリキュラムの編成

3. 研究に基礎をおく教育 (Research-based Education)

2)金曜夜間のオンライン授業の開講

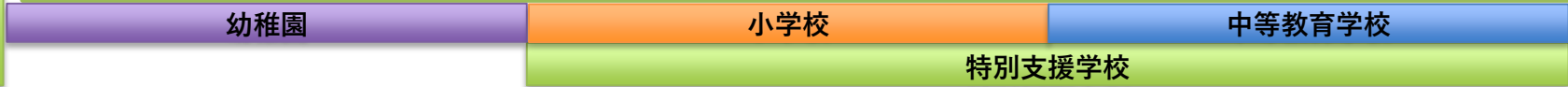
- ① 変動するこれからの日本社会に求められる、基本的な法的知識と豊かな応用能力を持つ職業法曹
- ② ビジネスローと呼ばれる広義の企業活動に関わる先端的法分野について、深い理解と国際的視野を有する弁護士
- ③ 学界の将来を担う実定法研究者




特徴

- 1) グローバル・ビジネスローの先進教育
- 2) 法学未修者に対する充実したスタートアップ教育
- 3) 7大学の学部（法曹コース）との連携協定と早期入学制度

附属学校部

神戸大学の理念である「真摯・自由・協同」の精神に基づき、総合大学の知とリソースを生かし、社会を創造する知性を持ち、国際感覚にあふれた、個性輝く豊かな人間の育成を目指す



<h2>多様性</h2>	<p style="text-align: center;">各々の知見を生かした多様な校種間での連携した一貫性のある教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自発的な活動としての遊びの充実 ・園生活を通じて友達や他校種の児童・生徒と共に遊びや生活を創り出すことを重視 ・遠足活動など全学年縦割り班別活動 ・児童主体で行う各種行事 ・多様性に富む児童・生徒間及び地域や他部局構成員との相互学習 ・学年縦割りで行う探究活動 ・生徒主体で行う各種行事 
<h2>国際性</h2>	<p style="text-align: center;">生徒の発達段階に対応した国際交流や海外研修プログラムの実施(グローバルキャリア人の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の教育研修の受入れ及び実践している教育・研究の発信 ・教育課程特例校として1年から行う充実した英語学習(カリキュラム「せかい」)の実施 ・国際人間科学部と連携した海外研修(附属小学校GCP)や、海外の学校との相互訪問など児童間の交流を実施 ・国内外の特別支援学校からの視察の受入れ及び実践している教育・研究の発信 ・ESD、探究英語を学校設定科目とし、国際的課題に英語での発信力を育成 ・大学・中等教育学校・小学校の英語カリキュラムの開発 ・課題研究を題材に、海外の提携校と相互交流を実施 
<h2>卓越性</h2>	<p style="text-align: center;">大学と連携した高度な教育プログラムの開発・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境や先端技術を活用し、高度な教育プログラムの開発 ・産学連携による先駆的幼児教育の社会への還元 ・文部科学省の研究開発学校やスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けるなど研究開発に取り組み、国の政策に貢献するとともに、先進的な教育研究成果を園児・児童・生徒及び地域に還元 ・児童発達等の先端研究を生かした、高度な教育プログラムの開発 ・ライフサイクルを見通した12年間の一貫した高度な教育プログラムの開発 ・多様な障害を持つ子どもの相互理解を発展させたインクルーシブ教育の推進 ・データサイエンス、課題研究等高度な教育プログラムの開発 
<h2>柔軟性</h2>	<p style="text-align: center;">個々の関心を重視した、自立的・協働的な学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事実を根拠とした「資質・能力カリキュラム」により、一人ひとりの発達や興味・関心に応じて資質・能力の発揮、伸長を支える指導 ・先駆的な教科担任制・学年担任制を採用することにより「豊かな成長・深い学び」の追求 ・生徒個々にテーマを設定し、継続的に取り組む課題研究 ・4学年協同ゼミで切磋琢磨し、課題研究に取り組み、大学での博士人材育成につながる探究力を育成 ・個々の興味・関心に基づいた自己選択・自己決定の力を育むコミュニケーション教育